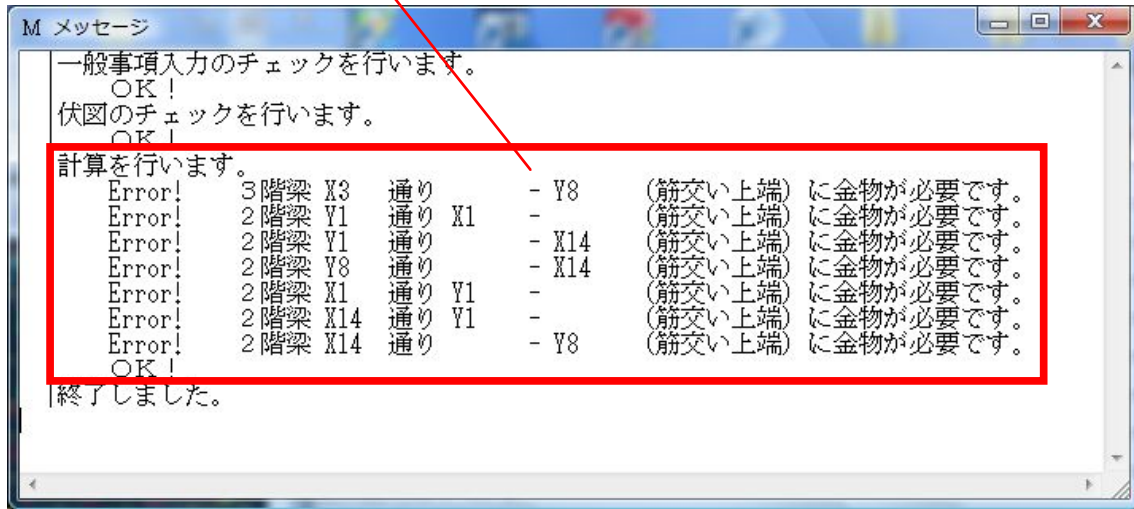


質疑：下記の様なエラーが出ます。原因と、対応を教えてください。



回答：エラーの結果は、**計算出力 (2.6.1)** に出力されます。
出力内容を確認します。



通し柱に取り付く梁端部に
引張金物が設定されていない

[柱-梁]接合金物
(引張耐力)のみ設定

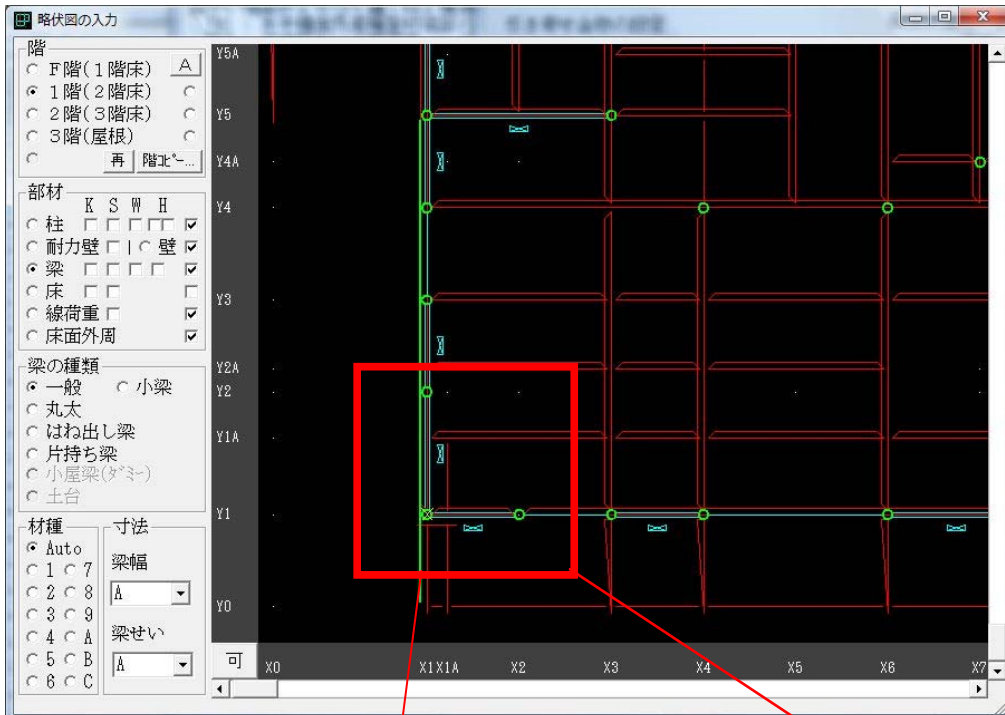
1) 通し柱に取り付ける (柱-梁) 金物を確認します。

梁受け金物の設定(短期)(kN)		名称	引張耐力	せん断耐力
1	CP	梁梁 1	0	0
2	SC	梁梁 2	0	0
3	OMC	梁梁 3	0	0
4	HD20	梁梁 4	0	0
5	HD25	梁梁 5	0	0
6	HD35	梁梁 6	0	0
7	HD35+SC	柱梁 あ (5)	7.5	0
		柱梁 い SC	10.7	0
8		柱梁 う	0	0
9		柱梁 え	0	0
10		柱梁 お	0	0
		柱梁 か	0	0

横架材接合部金物の設定(短期)(kN)		名称	引張耐力
A	大入れ蟻掛け+短冊金物(1)		10.1
B	大入れ蟻掛け+短冊金物×2(2)		15.9
C	HD20		20.9
D	HD25		28.7
E			0

(柱梁 あ) と (柱梁 い) が設定されています。

2) 通し柱に取り付く (圧縮筋交い) の横架材 (梁) 端部に (柱梁) 金物を設定します。



ここでは、(1~2階 通し柱: X1-Y1) を例に説明します

両方向に (両スジカい) が配置されている
通し柱に対し、(圧縮スジカい) となる

- 3) この通し柱には、X方向/Y方向とも圧縮筋交いが取り付いています。
[通し柱]に[圧縮スジカイ]が取り付く場合、[横架材]の端部に設置する【引張金物】の検定を行います。

X方向の梁 (X1~X2) の左端に (柱梁) 金物を設定します。 梁のプロパティを表示し、[左端梁受け金物番号]に【柱梁あ】を設定します。
同様に、Y方向の梁 (Y1~Y6) の左端に[左端梁受け金物番号]に【柱梁あ】を設定します。

梁のプロパティ

1階

Y1通り X1 - X2

材種	寸法
<input checked="" type="radio"/> Auto	梁幅
<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 7	A
<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 8	梁せい
<input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 9	18.0
<input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> A	
<input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> B	
<input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> C	

左端梁受け金物番号

右端梁受け金物番号

たわみ種別

Auto 床梁 屋根梁

梁のプロパティ

1階

X1通り Y1 - Y6

材種	寸法
<input checked="" type="radio"/> Auto	梁幅
<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 7	A
<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 8	梁せい
<input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 9	24.0
<input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> A	
<input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> B	
<input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> C	

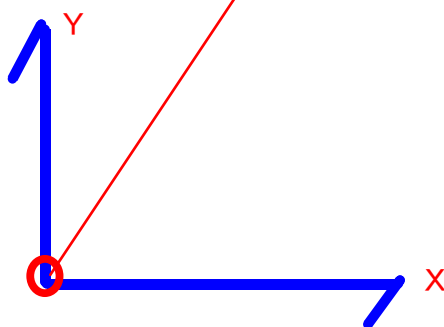
左端梁受け金物番号

右端梁受け金物番号

たわみ種別

Auto 床梁 屋根梁

梁の (左端) (右端) は、原点 (直交座標の左下) に近い方が (左端) です。



4) 計算を実行して、結果を見ます

計算結果

移動: 1. 一般事項

筋かい端部がとりつく通し柱と横架材の接合部
 TN1: 水平構面外周横架材端部の必要引張耐力
 TN2: 圧縮筋かいの壁倍率 × P0(=1960N/m) × 筋かい壁の実長(m)

金物
 (あ) : (5)
 (い) : SC

2階(3階床)

通り	符号	TN1 (kN) TN2 (kN)	金物	Ta(kN)	判定
X3	- Y8	8.908	金物が必要です		NG

1階(2階床)

通り	符号	TN1 (kN) TN2 (kN)	金物	Ta(kN)	判定
Y1	X1 -	2.927 4.454	(あ)	7.500	OK
Y1	- X14	7.319 4.454	金物が必要です		NG
Y8	- X14	7.319 4.454	金物が必要です		NG
X1	Y1 -	5.611 5.939	(あ)	7.500	OK
X14	Y1 -	5.611 5.939	金物が必要です		NG
X14	- Y8	2.927 4.454	金物が必要です		NG

金物を設定した箇所のエラーが解消されています。

【BP】の様に[柱]と[スジカイ端部]と[横架材]を接合する金物の場合は、検証不要です。

参考書籍「木造軸組工法住宅の許容応力度設計 2008年版」【2.4.7(3)】を参照ください。